

第32回 麟閣移築記念茶会

二人の恩人にささげる



菅生氏郷



千少庵

鶴ヶ城大茶会

令和6年

10月20日

時間 午前10時～午後3時

場所 鶴ヶ城本丸・茶室麟閣

席料 お一人様700円

戊辰戦争後、茶室麟閣は天守閣などが破却の憂き目にあう中、市内の森川家に移築され大切に保存されてきました。
以来120年にわたり保存された麟閣は、平成2年会津若松市が市制90周年を迎えることを記念し、鶴ヶ城の元の場所へ移築復元されました。
この移築復元を記念して鶴ヶ城大茶会は会津最大のお茶会として行われ県内外から多くの観光客が訪れる茶会として開催されています。



参加流派

- 大日本茶道学会会津若松支部
- 茶道石州流宗家会津支部
- 表千家同門会福島県支部会津方部
- (一社)茶道裏千家淡交会会津支部
- 石州流茶道宗家福島県支部

主催 鶴ヶ城大茶会実行委員会

共催 会津若松市 (一財)会津若松観光ビューロー

後援 会津若松市教育委員会

お問い合わせ 鶴ヶ城大茶会実行委員会 [(一財)会津若松観光ビューロー内] TEL 0242-27-4005

令和6年度 鶴ヶ城大茶会

大日本茶道学会 会津若松支部

大日本茶道学会は明治31年4月に田中仙樵居士が衰退していた茶道の復興を唱え、京都で創設しました。
仙樵居士は、各流の茶人が交流することにより理論的・学問的に研究し、茶道の精神性を追求し、技の研究実践を目指しました。
こころこめた一服を楽しみいただきたく、ご来席をお待ちしております。

茶道石州流宗家会津支部

会津松平家藩祖「保科正之公」は石州流の流祖「片桐石州公」に茶の湯を学ばれました。
その縁により、ここ会津の地には、石州流が代々受け継がれてきております。
少庵ゆかりの麟閣庭園にて、つり釜点前で秋のひとつときをお過ごし下さい。

表千家同門会 福島県支部会津方部

表千家では千利休の建てた茶室「不審菴」を歴代の家元が大切に受け継いできました。
また、不審菴は家元の号でもあります。
利休の自刃後、息子の少庵は鶴ヶ城主蒲生氏郷にかくまわれ、その後家康と氏郷の尽力により千家を再興し、現在に致っております。
歴史を感じながら一服の茶をお楽しみください。
ご来席をお待ちしております。

(一社)茶道裏千家淡交会 会津支部

淡交会は裏千家今日庵の直轄団体です。
全国に165支部、海外にも多くの出張所があります。
今日はこの天下の名城の天守閣の前に皆様をお迎えして茶会をすることができ心から喜んでおります。
どうぞご来席くださいますようお願いしております。

石州流茶道宗家 福島県支部

石州流はものものふ(武士)の茶道です。
流祖片桐石州は、奈良県大和と小泉の大名家に生まれました。「武家茶、大名茶」です。徳川四代将軍家綱の茶道指南となったことで、幕府の茶道として代々受け継がれてきました。
石州流では、シンボルマークとして大中小の三ツ輪があり、水玉を表しております。これは、水がどんな型の器にも応じるように、人間もその世界に応じて生きる無限の可能性が備わっていることを示しているものです。
武者点での茶席で「馬上杯」による一服をお楽しみ下さい。



鶴ヶ城大茶会 会場案内図



鶴ヶ城大茶会実行委員会